

2020年9月23日

各位

会社名 日本調剤株式会社
 代表者名 代表取締役社長 三津原 庸介
 (コード番号 3341 東証第1部)
 問合せ先 取締役財務部長 小城 和紀
 (TEL. 03-6810-0800)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年4月30日に公表した2021年3月期第2四半期連結累計期間(2020年4月1日~2020年9月30日)の業績予想を、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年4月1日~2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 138,895	百万円 361	百万円 249	百万円 △51	円 銭 △1.70
今回発表予想(B)	135,000	2,300	2,200	1,000	33.35
増減額(B-A)	△3,895	1,938	1,950	1,051	
増減率(%)	△2.8%	536.4%	782.8%	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	130,297	4,066	4,001	2,094	69.85

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 業績予想の修正理由

2020年4月30日に公表いたしました2021年3月期第2四半期の業績予想におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外来診療の抑制や処方日数の長期化等の影響が6月まで継続し、7月以降は回復すると想定しておりました。現時点の状況といたしましては、外来診療の抑制等の影響が7月以降も継続し処方箋枚数が想定以上に減少した結果、処方日数の長期化により処方箋単価は依然として想定を上回っているものの、当第2四半期連結累計期間の売上高は、期初の予想をやや下回る見込みとなりました。

一方、利益面では、グループ全社一丸となり取り組んできた各種経費抑制策の成果が計画を大きく上回るかたちで表れていることに加え、医薬品製造販売事業における採算性重視の販売戦略の実行と利益率の高い新製品の好調な販売により売上総利益が増加した結果、各段階利益は、前年同期実績には及ばないものの、

期初の予想を大幅に上回る見込みとなりました。

以上の状況を踏まえ、2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を上記のとおり修正することといたしました。

なお、2020年3月期の通期業績予想につきましては、現在下期の業績動向を精査中のため、現時点では前回公表の予想値を据え置くことといたしますが、今後、修正等が必要と判断される場合には、速やかに開示してまいります。

(注) 上記業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因により、これら予想数値とは異なる可能性があります。

なお、1株当たり四半期純利益の予想数値の算出に使用した発行済み株式数は、現在予想される期中平均株式数です。

以 上